

令和3年度 全国学力・学習状況調査の概要

学力調査の結果（小学校）

平均正答率

教科	国語	算数
藤井寺市	58	66
大阪府	63.2	69.7
全国	64.7	70.2

※平成29年度から市の表示は整数

全体的な傾向

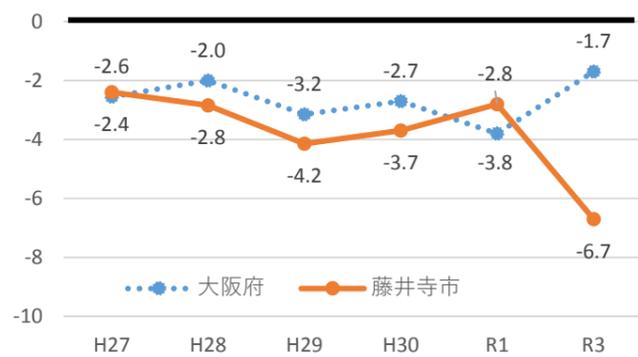
- ◆ 平均正答率は、国語・算数ともに全国・府平均を下回っている。
- ◆ 基礎的な問題、記述式問題に課題がある。
- ◆ 国語は「書くこと」、算数は「図形」に課題がある。
- ◆ 読書をしない、家庭学習（宿題を含む）をしない児童が多い。
- ◆ ICTの授業活用は、全国平均を上回っている。

※R2は中止（新型コロナウイルス感染症の影響のため）
※H30以前は、国語、算数のA問題、B問題の平均値で表示

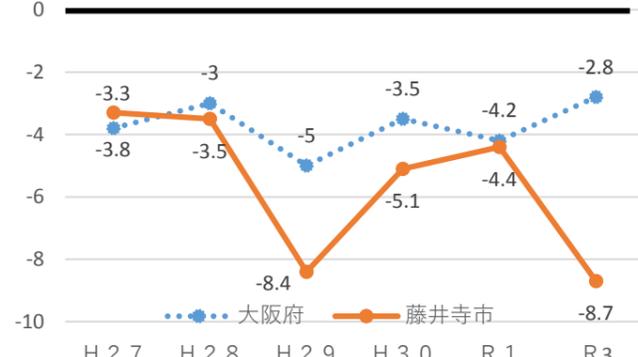
「全体の平均正答率」と「記述式問題の平均正答率」

※全国の平均正答率を0とした時の差

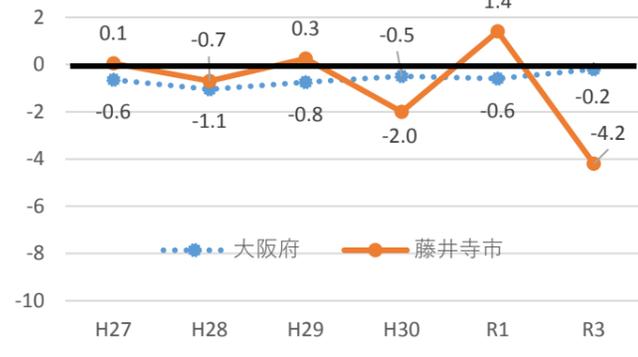
小学校国語 平均正答率



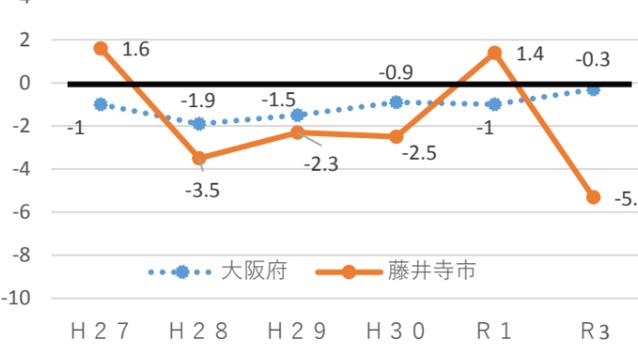
小学校国語 記述式問題の平均正答率



小学校算数 平均正答率



小学校算数 記述式問題の平均正答率

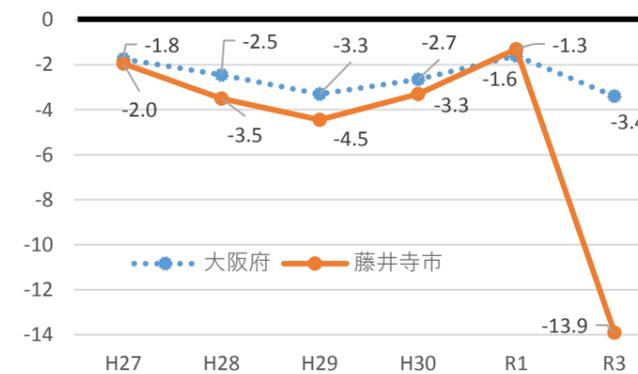


各教科の領域別の平均正答率

※全国の平均正答率を0とした時の差

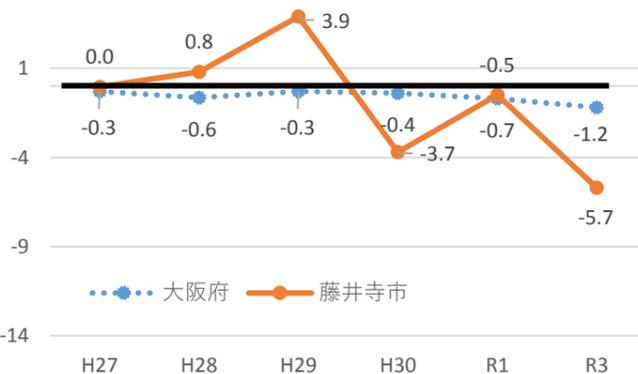
国語

書くこと



算数

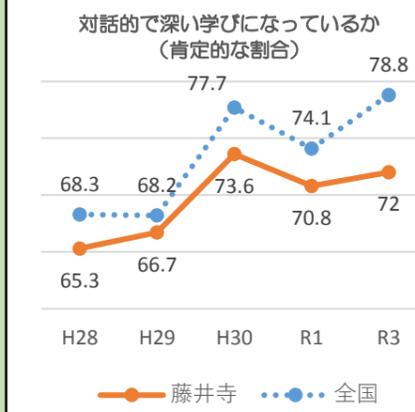
図形



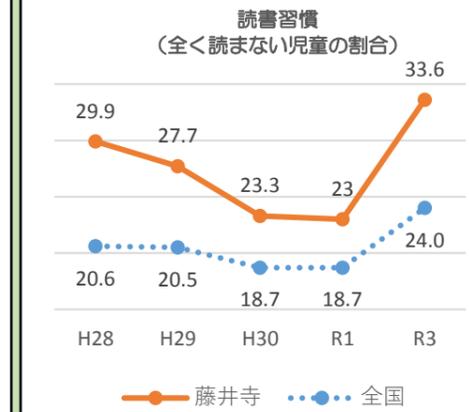
児童質問紙調査の結果（小学校）

※「ICT活用」は、R1からの調査項目
※「ゲーム時間」は、H30・R1の調査項目なし

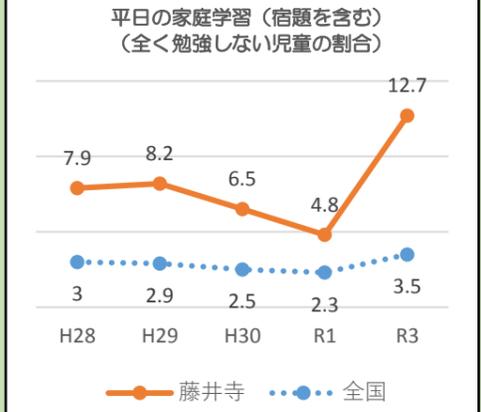
話し合い活動



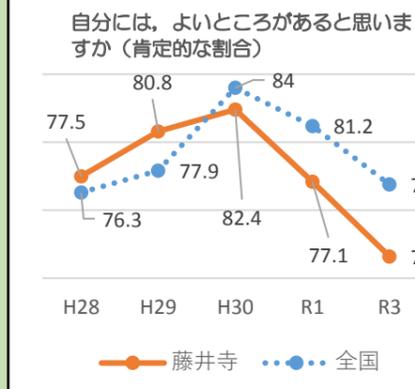
読書習慣



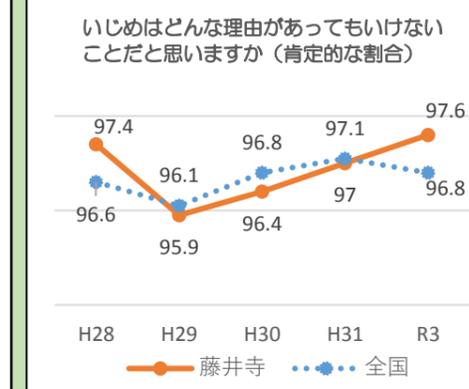
家庭学習



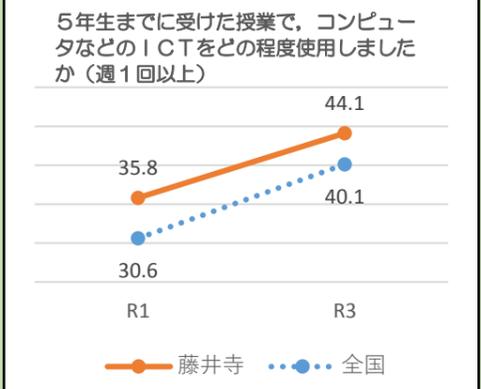
自己肯定感



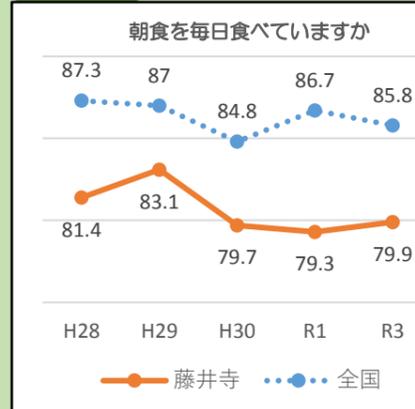
いじめはいけないこと



ICT活用



朝食



今年度の結果分析と取り組みについて

問題形式別では、「記述式問題」、領域別では、国語は「書くこと」、算数は「図形」に課題が見られました。

国語では「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き、表し方を工夫する【3.二】」問題に課題が見られました。理由や事例を明確にしなが、筋道を立てて自分の考えを伝えたり、書いたりすることに日ごろから積極的に取り組む必要があります。

算数では「水平な辺を底辺としない三角形の面積の求める【2(1)】」問題で、三角形の面積を求める公式を理解していないことが分かりました。公式や決まりを学習するときに、既習事項と関連性を持たせ、理由や根拠を理解できるような指導が求められます。

質問紙において、「いじめに対する意識」や「ICT活用」で、全国平均を超える結果になっております。これは「道徳教育の充実」、「GIGAスクール構想の推進」に力を入れてきた結果と考えています。一方、「読書を全くしない」、「家庭学習を全くしない」児童の割合は近年減少傾向にありましたが、今年度急激に増加しております。また、「平日にゲームを長時間する」の割合も急激に増加しており、学校外での過ごし方に課題が見られました。そのため、図書を活用した授業時間を確保したり、家庭学習の手引きの見直しや出題する宿題の分量や内容の改善が必要だと考えています。家庭学習の1つのツールとして、タブレットPCの活用を積極的に推進していきたいと考えています。

今年度の取り組みとしては、市内2小学校を「図書」、「学力」の大阪府モデル校として推進しております。「ICT活用」は、モデル校の指定は受けておりませんが、好事例を市内各校へ還元できるようICT活用会議を月2回実施しております。

ゲーム時間

